

令和5年度予算可決：一般会計総額約159億円

一般会計予算規模は159億7,300万円（対前年度比0.3%増）となりました。将来負担を減らしつつ、持続可能な市政運営に向けた「攻め」の行政経営が必要となっています。より一層の事業精査が行われていくことが予想されますが、市民生活の充実を第一に、市議会議員として取りんでまいります。

公共交通機関推進事業（デマンド交通）：**7590万円**

通学路安全対策事業：**1864万円** 廃棄物処理事業：**5億1693万円**

下水道整備事業：**1億1469万円** 上水道関係2事業：**1億8766万円**
など、**全263事業**

低迷する投票率・政治に参加する意味

前回（平成31年）行われた市議会議員選挙では、前々回（平成27年）の投票率：44.50%から4.88ポイントダウンの39.62%という結果でした。投票所別の投票率を見ると、第9投票所（葉山こども園）が29.65%で最も低く、第4投票所（第一小学校）が49.32%で最も高い投票率でした。『平成23年度富里市選挙に対する意識調査報告書』では、投票に行かない理由として「期待できる候補者がいない」、「候補者や政策・人物がよくわからなかった」ということが挙げられていました。これは私たち市議会議員にも大きな責任があります。最も身近でなければならない市議会議員がどのような活動をしているのか、身近な政治が生活にどんな影響を及ぼすのか、政治を身近に感じていただく行動を心がけます。政治にはたくさんの時間がかかります。今、みなさんひとりひとりが選んだ議員がした重大な選択が、みなさんの子供たち、孫たちの生活に影響を与えることになるのです。特に私たちの世代が『未来を創る

未来を創る世代としての認識。

これからの富里は **市民みんな**で創る。

世代』であることを認識し、『未来を創るツール』である政治に向き合っていかなければなりません。

富里市議会レポート

MOVE

討議資料

2023.4月号

の な み 慶 光

よし
みっ

最年少
36歳

OFFICIAL WEB SITE
<http://nonami-ouen.net/>



発行：のなみ慶光後援会

〒286-0221 千葉県富里市七栄3-5-79

TEL：0476-89-9828 / FAX：050-3737-7942

富里市議会議員

野並 慶光



【略歴】

昭和61年8月25日生

向台幼稚園 卒園

富里第一小学校 卒業

富里中学校 卒業

成田北高等学校 卒業

日本大学法学部政治経済学科 卒業

【現職】

富里市議会 議長

成田空港周辺市町議会連絡協議会 会長

富里市商工会青年部 副部長

千葉県行政書士会 印旛支部長

NARITA空港圏青年交流会 事務局長

（令和5年4月1日現在）

地元 富里 のために。

将来を見据え、
これらの事業推進に尽力します。

1. 働き世代の生活環境向上施策を推進します。

令和5年度、富里市では子ども家庭総合支援拠点強化や保育の充実、経済的支援などの事業によって、働き世代の環境向上、子育て支援に力を入れています。しかし、安心して子育てをするためには、これらと併せて、様々な施策を複合的に推進する必要があります。これらの施策を俯瞰の視点で推進します。



- **家族で1日遊べる施設がない。**
→ 利便商業施設の誘致促進、4で推進する民間活力利用に努めます。
- **子ども達の通学環境・学校生活に不安がある。**
→ 学校運営協議会の適正な運営、通学路・教育環境改善に努めます。
- **親の介護などの将来が不安がある。**
→ 2の公共交通の改善、介護施設等の地域福祉環境向上に努めます。

2. デマンド交通等公共交通の利便向上施策を推進します。

富里市マスタープランによると、2045年には65歳以上の方の割合が36%になると予想されており、自動車運転免許返納などの事情から、私たち市民の安心して利用できる足の確保が必須です。現状、デマンド交通の利用者は和5年1月31日時点で3,399人となっており、重要度はこれからますます高くなっていきます。本紙前号にて、停留所設置のルールについて触れましたが、公共交通は地域のみんなで造るものです。現に、皆さんからの要望により進化しています。運行時間拡大（9時間→12時間）、停留所の増設（98カ所→181カ所）、予約センターの稼働時間（平日のみ→土日祝日も稼働）など、改善されました。これから予想される改善点は、● **予約の方法改善（オンラインによる予約）**、● **停留所のさらなる増設**、● **運賃の改定**、など。皆さんの要望をうかがいながら地域公共交通施策のさらなる利便追及を推進します。

3. 地元商工農業事業者の支援施策を推進します。

コロナ禍を経て、リモートワークの普及などで人の流れや行動が変化し、私たちの働き方は変化しました。都会から地方への流れが生まれ、地域活性・地方創生の重要性が再認識されています。そのような流れの中で、行政と地元商工農業事業者との連携は必須です。富里においても、さまざまな取組がされていますが、一定以上の規模の事業者を対象としたものが多い印象です。地元商工農業団体と連携した国・県等の支援施策の窓口となるよう、地域に根ざした地元事業者支援活性化施策、UJIターンの方の受入れ体制構築施策を推進します。



4. 民間活力導入施策を推進します。

市内施設で使用する電力を調整するために富里市と民間事業者とで設立した「合同会社とみさとエナジー」は、昨今の電気料高騰の影響を抑えるために寄与しました。大型都市公園に飲食施設やアクティビティなどを設置して運営を委



大銀杏公園平面図 (Park-PFI)

託する公募設置管理制度 (Park-PFI)、廃校となった洗心小学校の活用など多くの期待を集める官民連携事業です。行政書士としての事業活動支援業務で培った経験を活かして、真に私たち市民のためになるよう、今後ますます加速するこれらの事業を推進します。

5. 市民と行政が目的を共有できる協働のまちづくりを推進します。

地域の防災・防犯・草刈りなどの住環境整備、さまざまシーンで「協働のまちづくり」という言葉が用いられ、定着してきました。公園管理協定の例においては、年間約1000万円もの事業効果を私たち市民が担っています。しかし、その内容が多岐にわたるにつれて、その目的が私たちにわかりづらくなっています。協働のまちづくりをより良いものにするため、「目的」を大事に、また、明確にした施策の展開を推進します。

